

# Catalyst 6500 シリーズ スイッチの SPAN による CPU バウンド トラフィックのキャプチャ

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[パケットのキャプチャ](#)

[Cisco IOS リリース 12.2\(18\)SXF](#)

[Cisco IOS リリース 12.2\(33\)SXH 以降](#)

## 概要

このドキュメントでは、Supervisor Engine 720 を実行する Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、スイッチ プロセッサ ( SP ) の CPU と ルータ プロセッサ ( RP ) の CPU 間のパス上のパケットをキャプチャするために、RP-Inband SPAN としてスイッチポート アナライザ ( SPAN ) 機能を使用する方法について説明します。

このパスのすべてのパケットが CPU に到達するわけではありませんが、このプロセスは CPU にバウンドされるトラフィックによる CPU 使用率の高い状況を分析する良い例になります。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Supervisor Engine 720 が稼働する Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

# パケットのキャプチャ

スイッチで実行される Cisco IOS® のバージョンを判別し、該当するコマンドを使用します。

## Cisco IOS リリース 12.2(18)SXF

```
6500#monitor session 1 source interface
```

!Use any dummy interface that is administratively shut down.

```
6500#monitor session 1 destination interface
```

! interface with PC running wireshark attached

```
6500#remote login switch
```

```
6500-sp#test monitor add 1 rp-inband tx
```

## Cisco IOS リリース 12.2(33)SXH 以降

```
6500(config)# monitor session 1 type local
```

```
6500(config-mon-local)# source cpu rp tx
```

```
6500(config-mon-local)# destination interface
```

! interface with PC running wireshark attached

```
6500(config-mon-local)# no shut
```

この設定は SP-RP インバンド パスのトラフィックをミラーリングし、それを宛先インターフェイスに転送します。ネットワーク インターフェイス カード (NIC) で受信されるトラフィックをキャプチャするために、宛先インターフェイスで PC を接続し、スニファ アプリケーション (Wireshark など) を開始します。